

パシフィック・リム (2013)

PACIFIC RIM

メディア 映画

ジャンル アクション SF ロボット

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 131分

初公開日 2013/08/09

公開情報 ワーナー

映倫 G

【キャッチコピー】

人類最後の望みは、この巨兵。

【解説】

日本のマンガやアニメ、特撮作品への造詣も深い「ヘルボーイ」「パンズ・ラビンス」のギレルモ・デル・トロ監督が、巨大怪獣と人型巨大ロボットとの戦いを圧倒的スケールで描き出したSFアクション・エンタテインメント超大作。出演はチャーリー・ハナム、イドリス・エルバ、菊地凛子、ロン・パールマン。また人気子役の芦田愛菜が菊地凛子の少女時代を演じてハリウッド・デビューを飾ったことも話題に。

ある日、太平洋の深海から突如巨大な生命体が出現した。“KAIJU”と名付けられた彼らは、大都市を次々と襲撃して容赦ない破壊を繰り返し、人類は滅亡の危機を迎える。そこで人類は世界中の英知を結集し、人型巨大兵器“イエーガー”を開発する。その操縦は2人のパイロットによって行われるが、イエーガーの能力を引き出すためには、パイロット同士の心を高い次元でシンクロさせる必要があった。当初は優勢を誇ったイエーガーだったが、出現するたびにパワーを増していくKAIJUたちの前に次第に苦戦を強いられていく。そんな中、かつてKAIJUとのバトルで兄を失い、失意のうちに戦線を離脱した名パイロット、ローリーが復帰を決意する。彼が乗る旧式イエーガー“ジプシー・デンジャー”の修復に当たるのは日本人研究者の森マコ。幼い頃にKAIJUに家族を殺された悲しい記憶に苦しめられていた。やがて彼女はローリーとの相性を買われ、ジプシー・デンジャーのパイロットに大抜擢されるのだったが…。

【クレジット】

監督	ギレルモ・デル・トロ	Guillermo Del Toro
製作	トーマス・タル	Thomas Tull
	ジョン・ジャシュニ	Jon Jashni
	ギレルモ・デル・トロ	Guillermo Del Toro
	メアリー・ペアレント	Mary Parent
製作総指揮	カラム・グリーン	Callum Greene
原案	トラヴィス・ビーチャム	Travis Beacham
脚本	トラヴィス・ビーチャム	Travis Beacham
	ギレルモ・デル・トロ	Guillermo Del Toro
撮影	ギレルモ・ナヴァロ	Guillermo Navarro
プロダクション デザイン	アンドリュー・ネスコロムニー	Andrew Neskoromny
	キャロル・スピア	Carol Spier
衣装デザイン	ケイト・ホーリー	Kate Hawley

編集	ピーター・アムンドソン	Peter Amundson	
	ジョン・ギルロイ	John Gilroy	
音楽	ラミン・ジャヴァディ	Ramin Djawadi	
	チャーリー・ハナム	Charlie Hunnam	ローリー・ベケット
出演	イドリス・エルバ	Idris Elba	スタッカー・ペントコスト
	菊地凜子	Rinko Kikuchi	森マコ
	チャーリー・デイ	Charlie Day	ニュートン・ガイズラー博士
	ロブ・カジンスキー	Rob Kazinsky	チャック・ハンセン
	マックス・マーティニーニ	Max Martini	ハーク・ハンセン
	芦田愛菜		森マコ（幼少期）
	ロン・パールマン	Ron Perlman	ハンニバル・チャウ
	バーン・ゴーマン	Burn Gorman	ハーマン・ゴッドリーブ博士
	クリフトン・コリンズ・J r	Clifton Collins Jr.	テンドー・チョイ
	ディエゴ・クラテンホフ	Diego Klattenhoff	ヤンシー・ベケット
	ロバート・メイレット	Robert Maillet	
	ヘザー・ドークセン	Heather Doerksen	
	ブラッド・ウィリアム・ヘンケ	Brad William Henke	
	サンティアゴ・セグーラ	Santiago Segura	
	ロビン・トーマス	Robin Thomas	